

「合成構造の設計」 講習会

関東支部

学びやすい構造設計のシリーズの一巻として、「合成構造」というテキストを出版することになった。「合成構造」という言葉の意味する構造は、複合構造[土木関係では良く使われる]とか、ハイブリット構造とか呼ばれているものと共通するもので、鋼とコンクリートによって構成される構造を総称した構造について本書では用いている。従来では、合成構造の代表的な構造としては鉄骨鉄筋コンクリート[SRCという]構造があり、RC構造、鉄骨構造と同様、非木造の構造の代表的な構造として用いられてきた。しかしながら、今日では構造の合理化という観点から、SRC構造の考え方を越えて、さまざまな鋼とコンクリートによる合成構造が出現しており、世界的にみても次世代の構造として脚光をあびてきている。

そこで、本シリーズのテキストとして合成構造を企画することになったが、従来より、合成構造[SRCが主なものであるが]については、学部で構造カリキュラムでは、RC構造や鉄骨構造とは異なり、カリキュラムの制約などから、1コマあるいは2コマ程度の講義がなされるだけで、体系的に講義がなされることはなく、したがって合成構造については多くの場合、独習によってなされることほとんどであった。

本書はこの独習される読者諸兄を対象にして、合成構造の設計・計画の考え方の理解を図れることを念頭において、執筆されたものである。したがって、具体的な合成構造の構造設計のテキストごとに、学会より出版されている『鉄骨鉄筋コンクリート構造計算規準』などを参照していただくことが必要になるが、その際の入門書としての性格をもたせたものが本書である。

なお、本書では、鋼とコンクリートによる合成構造を主に取り上げているが、最近ではさまざまな材料によって構成される合成構造[たとえば、木と鉄、ガラスと鉄、コンクリートと木など]も出現してきているが、これらの構造についても紹介している。このテキストが合成構造の勉強を志される読者諸兄のお役に立つことを願っている。

なお、テキストは次の構成になっている。第1章 合成構造概論、第2章 合成構造の計画と設計、第3章 構造用材料の性質、第4章 鉄骨鉄筋コン

〈主催〉 日本建築学会 関東支部

〈後援〉 開催地建築士会、日本建築士事務所協会連合会、日本建築構造技術者協会

リート構造の設計、第5章鋼管コンクリート構造の設計、第6章 合成梁の設計、第7章 コンクリート充填鋼管構造の設計、第8章 プレキャスト部材を含む合成構造の設計、第9章 柱RC、梁鉄骨とするRCS構造の設計、第10章 混合構造の設計、第11章 その他の合成構造、第12章 合成構造の展望、付 兵庫県南部地震におけるSRC造建築物の被害

申込方法

参加費(テキスト代含む)

1. 日本建築学会会員 8,000円
2. 登録メンバー 8,500円
3. 後援団体会員 9,000円
4. 上記以外 10,000円

*登録メンバー:会員外であって本会「能力開発支援制度」に登録された方
(詳細は本会HP参照 <http://www.aij.or.jp/jpn/CPD/>)

テキスト 「合成構造の設計」、B5判、約250頁

申込方法 (会場により方法が異なりますのでご注意ください)

①銀行振込指定口座に参加費をお振込みのうえ、申込書(コピー可、必要事項を明記のこと)と振込み明細のコピーと返信用封筒(80円切手貼付、宛名記入)の3点を同封して上記申込先にお申し込みください。折り返し参加券を郵送します(なお、振込み手数料は、参加者のご負担願います)。

②現金書留申込書(コピー可、必要事項を明記のこと)と返信用封筒(80円切手貼付、宛名記入)を同封し、参加費を添えて現金書留にて上記申込先にお申し込みください。折り返し参加券・領収書をお送りします。

*なお、①②とも参加費の払い戻しは致しませんので、予めご了承ください。また、電話でのお申し込みは受け付けません。

開催地・開催日・会場および申込先

開催地	開催日	定員	会場	申込み・問合せ	参加費支払方法・振込先
東京	1月27日(金)	300名	建築会館ホール (東京都港区芝5-26-20)	日本建築学会関東支部 〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 建築会館内 TEL03-3456-2050	①銀行振込 東京三菱銀行京橋支店 普通預金口座1719754 社団法人 日本建築学会関東支部
大阪	2月14日(火)	100名	大阪科学技術センター405 (大阪市西区朝本町1-8-4)	同上	同上
福岡	2月22日(水)	100名	九州大学箱崎理系地区21世紀 交流プラザI講義室AB (福岡市東区箱崎6-10-1)	同上	同上
前橋	3月4日(土)	50名	前橋工科大学大学院棟 210講義室 (前橋市上佐鳥町460-1)	日本建築学会群馬支所 〒371-0816 前橋市上佐鳥町460-1 前橋工科大学工学部建築学科内 TEL027-265-0111	②現金書留

プログラム		時間	9:20~9:30	9:30~10:05	10:15~11:00	11:00~12:00	13:00~14:00	14:00~15:00	15:10~16:10	16:10~16:40
開催地		内容	開会挨拶	1章	2, 3章	4, 5, 6章	7, 10章	8, 11章	9, 12章	質疑 応答
東京	1月27日(金)	支 部 長		南 宏一 (福山大学)	筒井茂行 (日本設計)	南 宏一 (前掲)	福元敏之 (鹿島技研)	立花正彦 (東京電機大学)	坂口 昇 (ものつくり大学)	
大阪	2月14日(火)			南 宏一 (前掲)	筒井茂行 (前掲)	南 宏一 (前掲)	福元敏之 (前掲)	福元敏之 (前掲)	南 宏一 (前掲)	
福岡	2月22日(水)			南 宏一 (前掲)	立花正彦 (前掲)	南 宏一 (前掲)	坂口 昇 (前掲)	立花正彦 (前掲)	坂口 昇 (前掲)	
前橋	3月 4日(土)			南 宏一 (前掲)	南 宏一 (前掲)	南 宏一 (前掲)	福元敏之 (前掲)	福元敏之 (前掲)	福元敏之 (前掲)	

*講師は都合により変更することがあります。

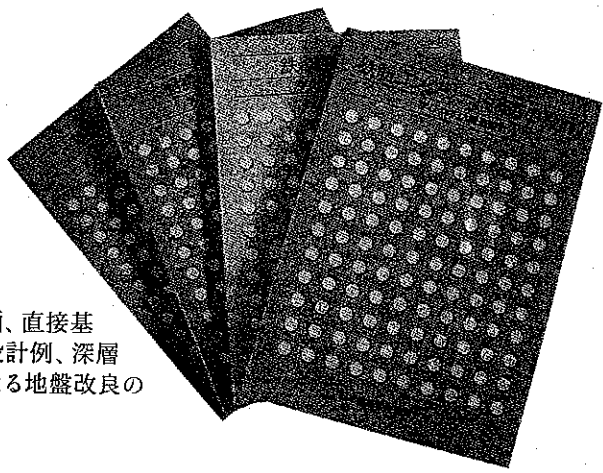
構造テキストシリーズ

鉄筋コンクリート構造の設計(B5判、668頁、5,000円)
過去の地震被害と構造設計法の歴史、構造設計の流れ、構造物のモデル化と構造解析、部材の性能について解説されている。また、詳細な設計例をとおして、この構造の設計を要領よく理解できるように配慮されている。

基礎構造の設計(B5判、390頁、3,600円)
本書は、地盤の基本的性質とその評価、基礎構造の計画、直接基礎、杭基礎、地盤改良、直接基礎の設計例、杭基礎の設計例、深層混合処理工法による地盤改良の設計例、締固め工法による地盤改良の各設計例についてわかりやすく述べている。

耐震構造の設計(B5判、664頁、5,000円)
過去の地震被害の総合的分析、地盤と建物の震動、新しい耐震計算法等に関して、耐震技術の基礎知識として段階的に平易に解説し、さらに建築構造の各分野の耐震技術や応用技術の実際について、具体的にわかりやすく述べている。

鉄骨構造の設計(B5判、373頁、3,900円)
極ありふれた鉄骨構造の建物について、基本的普遍的な構造設計手法を用いて「良い設計」ができるよう解説し、さらに構造設計がやりっぱなしにならないように、設計図書の作成と設計監理に関する章を新設するなど、実務の技術の習得を最大の目標にしたものである。



日本建築学会関東支部

TEL03-3456-2050 FAX03-3456-2058
E-mail:yamazaki@aij.or.jp

「合成構造の設計」講習会

会 場	() 会場	
会員資格	(1) 日本建築学会会員 下記のいずれかに○印をつけて下さい 個人 ・ 法人 ・ 賛助	氏名 会員No.
	(2) 登録メンバー	氏名 会員No.
	(3) 後援団体会員	氏名 所属後援団体名
	(4) 会 員 外	氏名
勤務先名 および 同所在地	〒 富	
参加費	テキスト共 (1) 日本建築学会会員 8,000円 (2) 登録メンバー 8,500円 (3) 後援団体会員 9,000円 (4) 会員外 10,000円	

※同じ職場で2名以上お申込みの場合は、氏名記入欄に連記してください。法人会員、賛助会員は、1口につき1名を会員扱いとします。